

増設する考えはないか。②公共
用地の規制緩和を行い、健康・
体力増進に利用できる環境をつ
くる必要がある。認識と対応は。
答 ①小田急線の南側に設置
を検討している。②児童
遊園で考えれば、種類によつて
その規模、利用時間もある。長
寿社会を目指すつくりをしてい
きたい。

浅野和男

薬物汚染の防止に ついて

問 近年、薬物使用による
ニユースがマスコミを通
じて騒がれているが、①市での
青少年、成人の薬物汚染の実態
把握は。②学校での具体的指
導・啓蒙は。③そのほかどのよ
うな対策を講じているか。
答 ①実態は把握していない。
②心身の健康を損なう原
因となることを授業やポス
ター・標語の作成を通し主体的
に深く考えるよう指導。③広
報・ホームページ等で啓蒙する。

広告収入拡大策に ついて

問 全国の自治体では財政再
建、行政改革、地域活性
化のために税金収入以外の各種
事業を行っているが、①ここ3
年間の市の印刷物などの企業広
告収入の現状、②今後の広告収
入の拡大策について。
答 ①18年度323万900
0円、19年度587万8
000円、20年度680万10
00円。②適切な広告収入の確

保に努める。

田口貴子

都市鉱山を発掘せよ レアメタル回収に ついて

問 ①小型家電や携帯電話に
含まれる希少金属回収へ
の市の取り組みを。②先進市で
の取り組みと課題は。③社会的
・全国的な展開はもうすぐ。市
で今から行うべき取り組みは。
答 ①事業者回収システムの
モバイル・リサイクル・
ネットワークで、メーカーを問
わず無料で回収することをごみ
半減新聞で掲載。②モデル地域
で実施し、データをとり研究。
③ごみ・リサイクルカレンダー
への掲載も含め周知を図る。

都内平均より8%事故 多発中〜自転車問題対 策のおくれを取り戻せ

問 ①画餅に近い過去のサイ
クルシティー構想、今後
は②一中通り等設置可能な箇所
の自転車優先レーンの試行は③
自転車保険加入促進は④マナー
啓発活動積極化は⑤道交法上適
正な3人乗り自転車普及への市
の対応は⑥市長の考えは。
答 ①画餅に近い過去のサイ
クルシティー構想、今後
は②一中通り等設置可能な箇所
の自転車優先レーンの試行は③
自転車保険加入促進は④マナー
啓発活動積極化は⑤道交法上適
正な3人乗り自転車普及への市
の対応は⑥市長の考えは。



①青色分け自転車専用
レーンの研究②警察とも
協議し工事費含めて研究・検討
③交通災害共済がある④関係機
関と連携・協力し検討⑤23区及
び26市の状況把握等を行い実施
方法等の研究⑥自転車を使いや
すいまちにしていけることが肝要。

こまバスは愛されバス から「福祉バスから 移行」の失敗について

問 ①車いす利用者や身体
の不自由な方が使いづらい
という声が多いが市の対応は②
①の方々の利用実績すら把握し
ていない行政の現状。市民検証
委員会での福祉的観点からの徹
底検証を③予備車両を使った臨
時便施策を④市長の考えは。
答 ①バス会社との定期的な
意見交換会の中で改善要
請②社協の職員にも参加をいた
だき意見を伺う③陸運局への申
請・臨時便の告知と許可が必要
④バス会社との定期協議や市民
検証委員会での議論などをいた
だき、改善努力をしていく。

小川克美

カーブミラー、街路灯 などの維持管理に ついて

問 現在ある街路灯などの多
くに根本部分の腐食が見
られる。市内を総点検し、転倒
を未然に防ぐ策を望む。また今
後は計画的な補修点検システム
の構築を求める。
答 街路灯などを目視、打突
等の調査をし、危険箇所
等を把握し、修理・設置がえを
定期的の実施。紙ベースからデ

デジタル化管理。

地域振興商品券に ついて

問 第1回目の結果を踏まえ、
個人商店の立場から、よ
り使いやすい商品券とすること
を望む。また換金方法なども検
討されたい。
答 個人商店に限った豪華賞
品が当たるイベントを実
施予定。個人利用者には抽せん券
を配布。換金方法については、
今後金融機関と調整・検討。

狛江市地域防災計画に ついて

問 ①輸送拠点(広域輸送基
地)からの物資輸送ルー
トの安全確保は。拠点をふやす
べき。②風水害時の避難勧告の
発令について、現状の3段階の
準備・勧告・指示では不十分で
あり柔軟な対応を望む。
答 ①迂回ルートを確認して
いる。世田谷区、都内26
市3町1村と協定を結び応援要
請ができる。②修正中の地域防
災計画に明示している。勧告・
指示はその場の状況を的確に把
握し避難先の周知を図る。

藤田 鋭

交通安全対策について

問 岩戸北四丁目喜多見駅付
近の松葉通りは幅員が狭
く、歩行者・自転車にとって大
変危険だ。当面の対策として、
横断歩道の設置やカラー舗装な

どできないか。また、水道道路
の車両速度抑制策として信号の
タイミング改善は図れないか。
答 松葉通り側に歩道がない
ことから横断歩道の設置
はできないが、路側帯の内側の
カラー化に関しては警察協議を
行うなどの検討。信号のサイク
ルのずれについては取り組みの
有効性を確認の上、所管である
警察と協議していく。

田中智子

狛江市の防災計画に ついて

問 今後30年間に首都直下型
地震への備えを①建物耐震
化の計画②家具の転倒防止事業
の実施状況③今後のチェック
シートの普及も必要④災害時要
援護者支援プランの準備状況⑤
和泉多摩川緑地の位置づけ。
答 ①整備計画を策定②器具
支給997件、取りつけ
328件③活用や周知方法等を
検討④防災ネット会議を通し情
報交換を行い、協議・連携し支
援策を検討する⑤一時集合場所
避難場所、帰宅困難者対策など
地域の防災拠点と考える。

新たなバス路線の整備 〜和泉多摩川駅から調 布駅まで直通路線を

問 元和泉地域や南部地域は
京王線への直通のバス路
線がない。①一本で行けるバス
路線整備の要望があるが、市の
受けとめは。②都道が整備でき
た際、こまバスの運行は。③こ
の機会に各バス会社に働きかけ

るべきと考えるが。
答 ①調布3・4・17号線が整
備されれば新たなバス路
線の運行の可能性が高まると認
識。②担当部としてはルートの変
更も検討の一つであるのではない
かと考える。③市民全体の交通
利便性を高める観点から検討。

田辺良彦

ゆったりとして 充実した新しい 図書館の建設を

問 蔵書・図書資料の充実、
インターネット活用、青
少年への本格的なサービスの展
開、資料の保全など、今図書館
に求められている課題にこたえ
ていくためには新図書館建設の
早急な実現が望まれるが、教育
委員会はどうか考えているか。
答 市民の身近な図書館とし
て、図書館の本来業務の一
層の充実が図れるような利用
価値の高い新図書館建設が望ま
れていると考えている。

長期休業中の五小のフ リープレイ実施など子 供たちの遊び場を

問 ①五小のPTAから長期
休業中もフリープレイ実
施の要望が出ている。児童セン
ター等にも距離があるので、ぜ
ひ実施されたい。②高架下運動
施設のダスト舗装がかなり痛ん
でいる。元和泉の施設と同様に
ゴムチップ舗装とすべきでは。
答 ①予算編成の中で十分調
整を図っていく。②ゴム
チップ舗装は費用が高い。それ
以外の方法等についても調査・
研究していきたい。

安全・安心のまちづくり 〜青色回転灯パトロー ルのさらなる充実を

問 ①今年7月までの狛江市
での犯罪発生件数の増減
は、昨年同時期と何%か。②青
色回転灯搭載車によるパトロー
ルをより頻繁に実施すべきだと
思うがいかがか。引き受けてく
ださる方が、安心して継続的に
取り組めるような形を要望する。
答 ①発生件数は414件、
昨年同時期の比較で4%
減となっている。②夜間、土・
日・祝日のパトロールを調布地
区防犯協会狛江支部連合会にお
願いできないか検討している。

鈴木 えつお

まちづくり条例と まちづくり指導基準に ついて

問 条例施行後、6年5カ月
で207件の事業があり、
すべてまちづくり指導基準を
守っている。ところが学校法人
等公共的団体にはこの基準が適
用されない。住民から疑問の声
が出ており、適用除外規定を廃
止するなど見直すべき。
答 条例に付随する規則等も
含め内容の検証が必要で
あり、他市の条例等も研究し見
直していきたい。

市民生活の支援に ついて

問 ①市民税・国保税・介護
保険料の減免制度の手引
きを作成して利用しやすくして
ほしい。②国民健康保険の資格